

2年生トライやる・ウィークが終わりました

6月12日（月）

5日間のトライやる・ウィークが全て終了しました。お世話になった受入事業所の皆様、本当にありがとうございました。どの生徒も本当に良い顔をして活動している姿を見てこちらもうれしくなりました。トライやる・ウィークの大切なところは事後指導にあると思います。自らの体験を振り返り、何を感じ、何を学んだかといった活動の意味を再度考え直し、自分の進路や生き方について考えるなど、生徒の意識を今後も高めていきたいと思っています。またトライやる・ウィークの成果を一過性のものとせず、生徒が地域の良さやふるさとの恵みにふれることができるように地域の行事等に参加する予定にしています。土・日曜日や長期休業日を利用して、地域行事の一部を手伝ったり、ボランティア活動に参加するなどの「トライやるアクション」にも積極的に参加させたいと思います。青垣中学校の生徒が地域で手伝えることがありましたら、今後もどんどん声をかけてやってください。受入授業所の方や地域の皆様本当にありがとうございました。

令和5年度重点項目

1 市町「トライやる・ウィーク」推進協議会の活性化

市町推進協議会が中心となり、学校・家庭・地域の連携により「地域が子ども達を育てる」という原点を踏まえた事業となるよう、学校、家庭、地域が互いに原点を共有し、三者が一体となって支援する等、教育支援システムの再構築によるさらなる連携強化を支援する。また、推進協議会構成員等を活用した受入先の確保や調整、各学校における活動の成果や課題等を検証するなど、校区推進委員会を支援する。

2 「社会に開かれた教育課程」の考え方による連携の充実

事業所確保や活動計画の立案等を学校だけが行わないように、コミュニティ・スクール等の既存の組織を効果的に活用し、普段から、「子ども達に学ばせたいこと」を共に考えるなど、「トライやる・ウィーク」を含む兵庫型「体験教育」や日々の教育活動などを連携・協働しながら充実を図る。

3 原点を踏まえた活動の深化

「トライやる・ウィーク」の名称は「挑戦する：トライ」とともに「学校・家庭・地域の三者：トライアングル」の意味が込められている。本事業が実施されるようになった背景やその趣旨を再認識するとともに、学校・家庭・地域それぞれの役割を見つめ直し、三者の一層の連携により、生徒一人一人の社会的自立に向けた取組の充実を図る。

4 社会的自立に向けたキャリア形成の支援

キャリアノートや兵庫版「キャリア・パスポート」等を活用し、社会における自らの役割や将来の生き方・働き方等を考えさせたり、自分に取り組むべきことへの目標を立てさせたりするなど、「トライやる・ウィーク」と関連付けた、生徒のキャリア発達につながる取組を充実させる。

5 ふるさと意識の醸成

ここ数年減少傾向にある文化・芸術創作体験活動、地域・郷土芸能活動等地域に根ざした活動を展開するとともに、「トライやる」アクション等において、地域の人々の温かさ、地域の良さやふるさとの恵みにふれることにより、生徒と地域とのつながりを深化させ、より幅広い体験活動を展開し、ふるさと意識の醸成を図る。

6 事前・事後指導の充実

活動に向けての意欲を高め、目的意識を明らかにするとともに、地域のさまざまな人々の支援や協力により実施されていることへの感謝の気持ちを育む事前指導をより一層充実させ、規範意識の醸成に向けた生徒指導の充実を図る。また、体験で学んだことをその後の生活に活かすための事後指導について、一層創意工夫する。

